

推薦入試 I 期小論文テーマ
農学部 農学科

平成 26 年度

海外から日本に農産物を輸入する際、一般的に関税が課せられる。とくに、コメは各種生鮮野菜や切り花に比べて高い関税が課せられる。このように品目によって税率に違いがあることを踏まえた上で、現在、関税が国内の農業生産に与えている影響を述べよ。さらに、将来はどうあるべきか、あなたの考えを述べよ。

平成 25 年度

農業生産を低下させる要因はさまざまであるが、生物的な要因によって収穫量が減少する事例を一つ挙げて説明したのち、それを防ぐ方法について述べなさい。

平成 24 年度

食料自給率向上と環境保全との観点から、将来の日本農業のあり方について論じなさい。さらに、その将来の日本農業にあなたはどのように関わることができるか述べなさい。

平成 23 年度

日本の食料自給率（供給熱量ベース）は 1965 年の 73% から大きく低下し、近年は 40% 前後で推移しています。この低下の原因を、食生活の変化との関連で説明し、自給率向上について、考えられる方策を述べなさい。

平成 22 年度

農耕地の生態系において、生物生産性は作物以外の様々な生物の影響を受けています。そこでまず、生物の影響としてどのようなものがあるか、農業上有益なものとは有害なもの両方について具体例を挙げて説明しなさい。次に、それらの生物と人間との共存を図るにはどのような方策が考えられるか論じなさい。